

日本ミュージアム・マネジメント学会
実践部門第1回研究会

日本型チルドレンズ・ミュージアムを考える

2009年12月20日（日）14:00～16:30

今日の子どもの成長環境をめぐる諸問題はめまぐるしく変化してきています。JMMAチルドレンズ・ミュージアム研究会は、そのような問題に対応するべく、日本型の新しいチルドレンズ・ミュージアムの創造を目指して、2005年に学会に設置されました。同研究会は「財団法人新技術振興渡辺記念会」より研究助成を受け、3カ年にわたり国内外のチルドレンズ・ミュージアムに関する調査研究を推進してきました。その成果を実践部門の第1回研究会の場を借りて発表いたします。

あわせて、日本大学文理学部の小笠原喜康教授をゲストスピーカーに迎えて、これからの日本型チルドレンズ・ミュージアムについてみなさんと考えていきたいと思っております。

～プログラム～

1. ごあいさつ

2. チルドレンズ・ミュージアム研究会の活動報告

(1)3カ年の研究活動からみえてきたもの（仮題）

小林 弘幸（つくばエキスポセンター）他

(2)チルドレンズ・ミュージアムにおける展示装置の利用者評価に関する研究

—モニター被験者による発話データに基づいて—（仮題）

佐藤公信（千葉大学工学研究科デザイン科学専攻）・千葉大学CM研究プロジェクト

3. ブレイクタイム

4. これからの日本型チルドレンズ・ミュージアムを考える（仮題）

小笠原喜康（日本大学文理学部教育学科教授）

チルドレンズ・ミュージアム研究会



1950年青森県八戸市生まれ。北海道教育大学釧路分校卒業後、東京都杉並区立小学校教員を経て東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科、筑波大学大学院博士課程教育学研究科修了・博士（教育学）。金沢女子大学を経て1989年より日本大学。1996年アメリカ在外研究時にボストンの子ども博物館をみて、帰国後にチルドレンズ・ミュージアム研究会を仲間とともに始める。

【主な著書】

- ・チルドレンズ・ミュージアム研究会編『博物館の学びをつくりだす—その実践へのアドバイス—』ぎょうせい、2006年。
- ・『議論のウソ』講談社現代新書、2005年。 など

5. 質疑応答

※発表内容は変更になる場合がございます。

- 会 場：国立科学博物館 地球館 2Fスタジオ
- 時 間：14:00～16:30（受付開始：13:30～）
- 定 員：50名
- 参加費：500円（資料代）
- 申し込み先/お問い合わせ先：JMMA事務局
TEL・FAX 03-3521-2932
E-mail：kanri@jmma-net.jp

国立科学博物館 <http://www.kahaku.go.jp/>
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

《最寄駅》

- ・JR「上野」駅公園口から徒歩5分
- ・東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅から徒歩10分
- ・京成線「京成上野」駅から徒歩10分

当日の連絡先：齊藤 090-8106-5785, 三上 090-6494-4835

※本チラシは当日の入館証になりますので、必ずご持参の上、入口でお見せください。
お忘れになると入館料をお支払いいただく場合があります。

研究会会場にてチルドレンズ・ミュージアム及びミュージアムに関する広報資料の配布を希望される方は、当日直接ご持参くださいませ。